



ひらかわ 市議会だより

平成23年
6月定例会

第23号

平成23年9月15日発行



目次

◆平成23年第2回（8月）臨時会（概要）	2
◆新議員の顔ぶれ	3
◆平川市議会委員会構成決定	4
◆会派紹介	5
◆平成23年第2回（6月）定例会（概要）	6
（審議した議案）	7～8
◆議決一覧表	9
◆市政に関する一般質問より（10議員）	10～15
◆議会の動き・編集室から	16

ゆれる稲穂と岩木山

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988

平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第2回(8月)

臨時会

議長

田中 友彦 氏



市民の皆さまには、平素から市議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

去る八月一日の臨時会において新体制が発足し、私は第四代の議長として選任されました。身に余る光栄であるとともに、責務の重大さを痛感しております。

議員の和合を図りつつ、平川市の均衡の取れた発展をめざし取り組んでまいるとともに、いままでの経験を活かし、古い事柄も新しい物事もよく知って（温故知新）、柔軟に対応し、市民の皆さまの期待に応えたいと考えております。

市民の皆さまには、引き続き議会に対しまして、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副議長

佐藤 雄 氏



市民の皆さまには、市議会に対し、温かいご声援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。議長同様臨時会において、私は引き続き副議長として選任されました。議長と一体となり、初心を忘れず新鮮な気持ちで、職務に励みたいと思っております。

すなわち、地区代表から市全体の代表者として、新市としての真の基礎固めに取り組みことで、市民の皆さまの期待に応えてまいりたいと考えております。

市民の皆さまには、今後ともご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

臨時会の主な内容

改選後初の臨時会が8月1日に開催されました。

議長及び副議長が選挙により決定しました。その後、常任委員及び議会運営委員、議会広報特別委員の選任が行われ、各委員会の組織会において委員長、副委員長が決定するとともに、各種事務組合等議会議員の選任が行われました。

議案では、監査委員に佐々木利正議員が選任されました。また、専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについては、平川市税条例等の一部を改正する条例が承認されました。

専決処分した事項の報告については、除草作業中の事故に係る損害賠償額の決定について報告されました。

各種事務組合等 議会議員

津軽広域連合

議員 對馬 實
議員 今 俊一

黒石清掃施設組合

議員 古川 敏夫
議員 佐藤 雄

弘前消防事務組合

議員 山田 尚人

弘前環境整備事務組合

議員 齋藤 剛

久吉ダム水道企業団

議員 成田 敏昭
議員 工藤 竹雄
議員 山田 尚人
議員 大澤 敏彦



新議員の顔ぶれ (議席番号順)

任期満了による7月3日の選挙で当選した議員を紹介します。任期は平成23年8月1日から平成27年7月31日までです。

※敬称略。略歴は行政区、現・前・新別を掲載しています。



⑤ やま だ なお と
山田尚人
唐竹【現】



④ おお さわ とし ひこ
大澤敏彦
町居【現】



③ こん しゅん いち
今俊一
尾上【新】



② なる み のぶ ひと
鳴海伸仁
大光寺【新】



① いし た たか よし
石田隆芳
上猿賀【新】



⑩ さい どう まさ こ
齋藤政子
尾崎【現】



⑨ つし ま みほる
對馬實
館山・松崎【現】



⑧ く どう たけ お
工藤竹雄
八幡崎【現】



⑦ さ さ き とし まさ
佐々木利正
三笠【現】



⑥ お の なが みち
小野長道
金屋【現】



⑮ こ がわ しょう じ
古川昭二
柏木町【現】



⑭ た なか とも ひこ
田中友彦
沖館【現】



⑬ さい どう りつ こ
齋藤律子
蒲田【現】



⑫ さい どう たけし
齋藤剛
小国【現】



⑪ お がさわら かつ のり
小笠原勝則
広船【前】



⑯ お だぎり のぶ かつ
小田桐信勝
南田中【現】



⑭ こ がわ とし お
古川敏夫
館田【現】



⑱ ふく し えみ こ
福士恵美子
本町【現】



⑰ さ どう たけし
佐藤雄
南田中【現】



⑯ なり た とし あき
成田敏昭
川向【現】

平川市議会委員会構成決定

総務企画常任委員会、建設経済常任委員会、教育民生常任委員会、議会運営委員会、広報特別委員会の各委員等が決定しました。

◎委員長 ○副委員長

総務企画常任委員会

庶務、財務、税務、企画調整、消防、他の委員会に属しない事項について調査、審査を行います。

- ◎ 齋藤 政子
- 古川 昭二
- ・ 佐藤 雄彦
- ・ 田中 友彦
- ・ 齋藤 剛則
- ・ 小笠原 勝利
- ・ 佐々木 則正



建設経済常任委員会

土木、建築、産業経済、土地改良、商工観光、水道、下水道の所管に関する事項について調査、審査を行います。

- ◎ 小野 長道
- 成田 敏昭
- ・ 小田 信勝
- ・ 古川 敏夫
- ・ 工藤 敏竹
- ・ 鳴海 伸隆
- ・ 石田 芳隆



教育民生常任委員会

教育、民生、保健衛生、国民健康保険、介護保険の所管に関する事項について調査、審査を行います。

- ◎ 福山 惠美子
- 山田 尚人
- ・ 齋藤 律子
- ・ 對馬 實彦
- ・ 大澤 敏俊
- ・ 今



議会運営委員会

議会の運営や議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項及び議長の諮問に関する事項について調査、審査を行います。

- ◎ 齋藤 剛彦
- 大澤 敏彦
- ・ 古川 敏昭
- ・ 成田 敏昭
- ・ 古川 昭二
- ・ 山田 尚人



広報特別委員会 (兼 図書室運営委員会)

議会に関する事項を住民へ周知するため、議会だよりの編集を行います。(議会図書室の運営)

- ◎ 對馬 實一
- 今 俊
- ・ 福士 惠美子
- ・ 齋藤 剛子
- ・ 齋藤 政子
- ・ 小野 長道



会派の紹介

※会派とは…主義・主張を同じくするものによって作られた派閥や団体。
(大辞林より)
 平川市議会では申し合わせ事項により、2人以上の所属議員を有する党及び会派をいう。

へい しん かい 新 会 (11名)

目的：平川市が合併して5年となり、合併契約の基本条項は遵守しながら、市政発展のため、「故きを温ね新しきを知る」心をもって会員相互の融和をはかり、「万機公論」にして決する。

役 職	氏 名
会 長	佐 藤 雄
副 会 長	田 中 友 彦
幹 事 長	山 田 尚 人
副幹事長兼会計	大 澤 敏 彦
幹 事	今 俊 一、鳴 海 伸 仁
会 員	成 田 敏 昭、齋 藤 剛、齋 藤 政 子、佐々木 利 正、石 田 隆 芳

たく せい かい 拓 政 会 (6名)

目的：会員相互の理解と親睦を図り、平川市民全体の福祉向上と地域社会の発展のために努力する。

役 職	氏 名
会 長	小田桐 信 勝
副 会 長	古 川 敏 夫
幹 事 長	古 川 昭 二
会 計	工 藤 竹 雄
会 員	對 馬 實、小 野 長 道

所属会派なし

福 士 恵美子 (社会民主党)
 齋 藤 律 子 (日本共産党)
 小笠原 勝 則



議会を傍聴してみませんか

定例会は 3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線 1511)

※ 6月議会では45名の方が傍聴されました。

第2回(6月)

定例会



東日本大震災の犠牲者の御冥福と、一日も早い復興を心からお祈りいたします。

平成23年第2回平川市議会定例会は、6月2日から10日までの9日間開催されました。

初日、議案の提案理由の総括説明を受けた後、各常任委員会に付託されました。

本定例会では、人事案件2件について原案どおり同意され、条例案1件、条例改正案3件、規約の一部変更2件、計画の変更1件、財産の取得1件、平成23年度補正予算案3件、合わせて13件が原案可決となりました。

また、専決処分した事項の報告ならびに承認を求めることについては、平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例等5件が原案承認されました。

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を6月10日までの9日間と定め、諸報告が行われました。

大川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、人事案件を除く議案が総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。

また、平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書、平成22年度平川市一般会計事故繰越し繰越計算書、平

成22年度平川市下水道事業会計予算繰越計算書について報告され、専決処分した事項の報告並びに承認をもとめることについては5件が原案承認されました。

議案熟考のための休会をはさみ、5日目には常任委員会を開催。6日目と7日目には10人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

8日目は議事整理のため休会し、最終日には、各委員会委員長が報告を行った後、平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案を含む条例案・条例改正案4件、津軽広域連合規

約の一部変更についてを含むその他の案件4件、平成23年度平川市一般会計補正予算案（第1号）を含む補正予算案3件が全会一致で原案どおり可決されました。



【会期日程】

6月10日(金)	6月9日(木)	6月8日(水)	6月7日(火)	6月6日(月)	6月5日(日)	6月4日(土)	6月3日(金)	6月2日(木)
本会議	休会 (議事整理のため)	一般質問	一般質問	常任委員会	休会	休会	休会 (議案熟考のため)	本会議



人事案件

人権擁護委員に

小笠原 昭治氏
を再任

人権擁護委員小笠原昭治氏の任期が、平成23年9月30日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住所 平川市広船福田148番地2
氏名 小笠原 昭治
生年月日 昭和24年6月27日生

人権擁護委員に

山田 君子氏
を再任

人権擁護委員山田君子委員氏の任期が、平成23年9月30日をもって満了するので、再任することに同意しました。

住所 平川市碓ヶ関鯨森60番地15
氏名 山田 君子
生年月日 昭和21年8月2日生

条例案

●平川市議会の議決すべき事件を定める条例案（公布の日から施行）
定住自立圏形成協定の締結、もしくは変更又は協定の廃止について、平川市議会の議決事件とするため。

条例改正案

●平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案（公布の日から施行）
地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業をすることができない職員及び部分休業をすることができない職員の範囲を改め、並びにその他所要の改正を行うため。

問 勤務体制が週5日未満、1日7時間45分未満の職員を指すが、市には該当職員はいない。

●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案（公布の日から施行）
改正後の平川市工場等設置促進条例の規定は、平成23年4月1日から適用する）
企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の規定に基づく、承認企業立地計画に従って設置される施設における特例の適用期限を延長、及び過疎地域自立促進特別措置法の規定に基づく、過疎地域における特例の適用期限の延長及び失効期限を定めるため。

問 当該非常勤職員とは、以外の非常勤職員とは、
●平川市下水道条例の一部を改正する条例案（平成23年7月1日から施行）
公益法人制度改革に伴い、日本下水道協会青森県支部が青森県下水道協会に変更することから、当該名称及びその他所要の改正を行うため。

規約変更案

●津軽広域連合規約の一部変更について（平成23年8月1日施行）
津軽広域連合の事務所的位置を変更することについて、地方自治法第291条の11の規定により議会の議決を必要とするため。

地方自治法第290条の規定により議会の議決を必要とするため。

質 疑
問 変更の内容は。

答 事務組合の監査委員について、議員の中から2名選任していたのをより開かれたものとするため、1名を優れた見識を有する一般の方から選任するため。

計画変更案

●平川市過疎地域自立促進計画の変更について
平川市過疎地域自立促進計画を変更するにあたり、過疎地域自立促進特別措置法第6条第7項において準用する同条第1項の規定により議会の議決を経るため。

質 疑
問 計画変更後の特定環境保全公共下水道事業について、下水道普及事業を過疎債を財源に実施することか。

答 そのとおりである。

問 碓ヶ関の消防施設の

質 疑
問 この改正は平川市だけのものか。

答 国・県及び市町村に ついての改正である。

問 該当する非常勤職員以外の非常勤職員とは、

質 疑
問 本条例の対象となる施設の種類の。

答 主に製造業であるが、他にソフトウェア業、コールセンター等の情報関係の産業も認められている。

問 本条例で定める特例

答 整備事業内容は、屋根、外壁、内装の改修工事である。

その他

●財産の取得について

消防ポンプ自動車1台及び小型動力ポンプ積載車（軽自動車）1台を取得するため。

◇取得する財産…消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車1台

◇契約の相手方…弘前市

笹消防資材 代表 笹孝

◇取得金額…1842万7500円

質疑

問 以前の契約不履行業者への罰則は。

答 指名停止規定に即し平成22年9月21日から平成23年9月20日まで1年間の指名停止期間である。

補正予算関係

一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ6千万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ160億7千万円とする。

質疑

問 災害救助費に関連した職員の何人か。

答 県、市長会からの要請により職員を公募し、

保健師、一般職の職員が4月から5月で延べ16名派遣されている。

問 放射性物質検査機は農産物だけを検査対象とするのか。

答 検査機器購入後は、農産物だけでなく、学校の土壌その他の検査にも使用可能である。

水道事業会計

収益的収入及び支出の予定額にそれぞれ303万円を追加する。

主な内容は、収入では営業収益に追加することにより水道事業収益が5億2579万5千円、支出では営業費用に追加することにより水道事業費用が4億7737万3千円とする。

問 水道の普及率は。

答 簡易水道を利用して

いる東部地区と碓ヶ関地域を除いた地域の普及率は88・7%である。

問 簡易水道を利用して

いる東部地区と碓ヶ関地域を除いた地域の普及率は88・7%である。

下水道事業会計

収益的収入及び支出の予定額にそれぞれ350万円を追加する。

主な内容は、収入では営業収益に追加することにより公共下水道事業収益が5億9257万5千円、支出では営業費用に追加することにより公共下水道事業費用が5億9925万8千円とする。

質疑

問 50万円の測量設計費は何の工事に係るものか。

答 県道工事に伴う汚水樹の移設工事である。費用は全額県からの歳入によるものである。

問 3000万円の工費の工事箇所数は。

答 33箇所を見込んで

報告

平成22年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について（報告）

平成22年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について（報告）

平成22年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について（報告）

平成22年度平川市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について（報告）

専決第1号 平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例（原案承認）

反対討論あり

国保税の基礎課税額、後期高齢者支援金等課税額、介護納付金課税額の限度額の合計が73万円から77万円に引き上げになることから反対する。

■専決第2号 平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例（原案承認）

■専決第6号 平川市税条例の一部を改正する条例（原案承認）

■専決第3号 平成22年度平川市一般会計補正予算（第6号）（原案承認）

■専決第5号 平成23年度平川市足柏木町財産区一般会計補正予算（第1号）（原案承認）

■専決第4号 損害賠償額の決定及び和解の県について（報告）



購入予定の放射性物質測定機器

平成23年第2回定例会 【6月開催】

議 決 一 覧 表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常 任 委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
54	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	—	—	—
55	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	—	—	—
【条例案・条例改正案】						
56	平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
57	平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
58	平川市下水道条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
59	平川市議会の議決すべき事件を定める条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
【その他】						
60	津軽広域連合規約の一部変更について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
61	弘前地区環境整備事務組合格約の一部変更について	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
62	平川市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
63	財産の取得について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
【補正予算案】						
64	平成23年度平川市一般会計補正予算案 (第1号)	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
65	平成23年度平川市水道事業会計補正予算案 (第1号)	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
66	平成23年度平川市下水道事業会計補正予算案 (第1号)	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
【報告】						
1	平成22年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について					
2	平成22年度平川市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について					
3	平成22年度平川市下水道事業会計予算繰越計算書の報告について					
4	専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて					
	・専決第1号 平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案承認	起立多数	—	—	—
	・専決第2号 平川市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案承認	全会一致	—	—	—
5	専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて					
	・専決第3号 平成22年度平川市一般会計補正予算(第6号)	原案承認	全会一致	—	—	—
	・専決第5号 平成23年度平川市柏木町財産区一般会計補正予算(第1号)	原案承認	全会一致	—	—	—
6	専決処分した事項の報告について					
	・専決第4号 損害賠償額の決定及び和解の件について					

平成23年第2回臨時会 【8月開催】

議 決 一 覧 表

議案 番号	議 案 名	本 会 議		常 任 委 員 会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
67	平川市監査委員の選任について	原案同意	全会一致	—	—	—
【報告】						
7	専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて					
	・専決第8号 平川市税条例等の一部を改正する条例	原案承認	全会一致	—	—	—



平成23年第2回（6月）定例会 一般質問傍聴席

市政に関する一般質問より

●6月定例会では、7日（火）と8日（水）の2日間にわたり、10人の議員により一般質問が行われました。
●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。
議案の質疑とは別に通告が必要で、当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

1. 古川 敏夫 議員 「一括質問方式」

1. 平川市の生活保護世帯の現状について
2. 地域活性化と観光振興支援の見直しについて

2. 工藤 竹雄 議員 「一括質問方式」

1. 報道等で得た東日本大震災の教訓は何か
2. 地域防災計画等を見直す考えはあるのか
3. 避難場所の整備は万全なのか
4. 市における備蓄について

3. 成田 敏昭 議員 「二問一答方式」

1. 放射性物質測定機器について
2. 農産物の風評被害の対応方について
3. 今後の平川市の観光イベント等の開催について
4. 宿泊者減少に伴う対応策について

4. 齋藤 政子 議員 「一括質問方式」

1. 放射性物質測定について
2. ツルワレリングについて
3. 農家の所得向上について

5. 今井 章也 議員 「二問一答方式」

1. 平川診療所の今後のあり方について
2. 職員の採用について

6. 大川 登 議員 「一括質問方式」

1. 小・中学校の停電時の発電方法
2. ソーラー発電の有効利用
3. 市の施設の節電対策
4. 節電対策に市独自の補助金の用意はあるのか

7. 福士 恵美子 議員 「一括質問方式」

1. 学校・市役所の太陽光発電の実績
2. 市長の原発に対する考え方について
3. 風評被害について
4. 高齢者の交通安全対策
5. 万引き対策
6. セルフネグレクト対策について

8. 佐々木 利正 議員 「二問一答方式」

1. 市内学校施設の今後の改善計画について
2. 防災無線の整備計画について

9. 齋藤 律子 議員 「二問一答方式」

1. 地域防災計画の見直しについて
2. 学校施設の老朽化や教育環境整備について
3. 公正・平等な平川市をめざして

10. 齋藤 剛 議員 「一括質問方式」

1. 本町小国線道路決壊場所の復旧見通し等について

生活保護世帯に対する更なる対座的な対応を！



古川 敏夫 議員

平川市の生活保護世帯の現状について

古川 生活保護世帯数とそのうちの働く年齢層とみられる世帯の割合は。

市長 平川市の生活保護世帯は平成23年度4月末日現在で383世帯、受給者は518人である。このうち、働く年齢層とみられる世帯は40世帯で、生活保護世帯の10・4%を占めている。この40世帯の中では、就労しているものの低収入のため保護を受給している世帯が19世帯、求職活動をしているが就労にいたらない世帯が21世帯となっている。

古川 働く年齢層と見られる世帯に対し、どのような指導・対策を行っているのか。
市長 働く年齢層と思わ

れる世帯には、ケースワーカーが毎月家庭訪問を実施し就労指導を行っている。被保険者から毎月求職活動報告の提出をさせ、ハローワークからの試験・面接結果を踏まえて早期就労のための指導・助言を行っている。

各種免許・資格等が必要な会社への就職希望がある場合には、生活保護費を活用し、取得のための講習へ参加させ、希望する就職先へ勤めることができるように就労支援を行っている。

地域活性化対策の観点からのねぶた運行団体に対する支援の見直しを



ねぶた合同運行より

古川 平川市の祭りの目玉である「ひらかわねぶた祭り」に参加している団体は、景気低迷による寄付金不足により苦慮している。夏のねぶたまつりを更に盛り上げるために助成の増額検討を。

市長 ねぶたに関する本年度の予算額はすでに議会において承認をいただいている。祭りに参加している各団体の現状は知っているが、他のイベントとの兼ね合いもあり全体のバランスを考えると予算の上乗せは難しい。

市民の生命と財産を守るため、万全な防災対策を！



工藤 竹雄 議員

東日本大震災の教訓は何か

工藤 震災で得た教訓は。
市長 この大震災で得た教訓は「想定外」という言葉は原子力施設にはあつてはならない点、風評被害は実際の被害地域を超えた広い地域に影響を受ける点、広域的な連携も含めて全国的に防災対策の見直しが必要になった点、あえて付け足すとすれば、国会や各政党がこのような緊急事態においてもエゴや利害関係を排除しきれていないと見える点である。

平川市地域防災計画、平川市国民保護計画の見直しを

工藤 計画に不備がある場合に随時検討し、内容の修正をすべきではな

かったのか。

市長 国の防災基本計画、青森県地域防災計画の修正により、計画及び具体的な運用面に関して総合的に見直しをしていく。
総務部長 名称、連絡先等など細かな変更点の修正は随時必要であったと感じている。

工藤 弘前大学と共同研究していた防災無線の整備の状況は。
総務部長 防災計画ではアナログをデジタル化にする計画であるが、多額の費用を要することも考慮し、現在あるアナログ式のもの防災ラジオ等に活用することができるとい共同研究結果が出ている。

避難所の耐震診断計画の目標を100%に

工藤 避難場所は、屋内77箇所、屋外25箇所のうち、耐震診断対象施設33箇所の予定も含めいつまでに実施するのか。
市長 新耐震基準前に建

てられたことにより、耐震診断を要する33箇所のうち、診断済みが10箇所、本年度が4箇所実施を予定している。未実施の施設においては費用等を勘案しながら検討する。
総務部長 耐震診断は平成27年度までに90%実施を計画している。

備蓄物資確保のための企業との締結を

工藤 防災計画にあるような水などの備蓄がない。保管の難しい食料などは企業と締結すべきではないか。
総務部長 震災により食料・燃料の供給問題が浮き彫りとなり、その他の部分を含めて防災計画の見直しを図り、締結についても十分協議をしたい。



観光客が安心して過ごせる環境づくりを！



成田 敏昭 議員

放射能物質測定機器
購入後の対応につ
いて

成田 防災計画の中にあ
りながら設置されてい
なかった放射能物質測定機
器購入を予算化してい
るが、市民の不安解消と
なるのか。

市長 今回補正予算によ
り市独自に放射性物質の
検査の実施と放射能物質
測定機器を購入すること
となった。これにより、
平常時の放射線量の測定
や農産物の生育段階から
収穫までを調査し公表す
ることにより、これまで
以上に身近な情報を提供
できると考えている。

農産物の風評被害対
策としてデータの公
表を

成田 市職員が市民の安

心・安全を守るために農
産物等の検査を行い対応
してほしい。

市長 市独自に放射性物
質の検査を実施し、公表
することにより、平川市
の農産物の安全性をPR
できるものと考ええるが、
公表することによる反作
用的な部分が現れないか
心配な面もある。

観光客の呼び水であ
るイベントの工夫と
宿泊者減少への対応
は

成田 震災の影響により
減少している観光客を呼
び戻すため、イベントや
宿泊施設等どのような
対策を考えているか。

市長 平川市に観光客を
呼ぶためには、「全国で
ここにしかない」ものが
必要であるが、残念なが
ら平川市には特別なもの
がない。珍しいハンカチ
ツリーを市内の道路網に
植える提案も受けたこと
もあり、「これが平川市
だ」と全国発信できるよ
うな市づくりをしていき

たい。

経済部長 市内外を問わ
ず全ての消費者の方を觀
光客とみなして、果樹、
野菜等も含めた農業と觀
光の結びつきのイベント、
ツアー等を企画して觀光
産業の収入を増やす取り
組みをしている。



ハンカチツリー

放射性物質測定結果は公表すべき！



齋藤 政子 議員

放射性物質測定機器
購入と検査委託料に
ついて

齋藤 測定機器の販売所、
価格、大きさ。購入に対
する国・県の補助金有無。
また、検査の委託機関と
その使い方について。

市長 今回購入予定の機
器は、簡易検査機器とし
ては性能が高いものであ
り、J・A津軽みらい農協
でも購入を予定している
機器である。価格は約
50万円。現在、業者に発
注が集中しており納品ま
で3箇月ほど要する。納
品までの期間の検査を檢
査機関に委託する予定で
ある。検査機器の一般貨
し出しは今のところ考え
ていないが、要請があれ
ば職員が対応する予定で
ある。

経済部長 測定機器は弘
前市内などに各メーカー

の代理店がある。大きさ
はタテヨコ約20cm×25cm
×高さ15cm程度、重さ
が2、3kgのものである。
県では農業関連機関には
補助をだしているが、市
には適用されない。農産
物に限らず、学校の校庭
や遊具、海外輸出の工業
製品等の測定も想定して
いる。

検査機関は、青森市菓
剂師会と環境保全株式会
社の2社が営業に来てお
り、価格競争等で委託先
が決定する予定。

ツルワレリンゴプロ
ジェクトチームの現
状は

齋藤 ツルワレリンゴ対
策として誕生したチーム
の取り組みをもっと市民
に知らしめ、メンバーを
育てるための予算化を。

市長 ツルワレ対策の調
査研究のため平成22年に
設置されたもので、生産
者の情報交換とプロジェ
クトチームによる実験・
調査等を行っている。情
報交換会を開催し実験結

果を発表しており、今年
度はホームページでもお
知らせする予定である。
有効な対応策が確立でき
るよう、引き続き対応し
ていきたい。

農業所得向上のため
の施設整備の充実を

齋藤 ビニールハウスは
これまでリンゴのみで
あった農家の所得向上に
大きく貢献している。現
在の補助率、施設整備事
業年度、来年度予算の考
えを問う。

市長 市では、県の補助
事業による4分の1に加
え、市の補助金として
40%までかさ上げして交
付している。今後も農家
所得向上のため、県に対
し事業継続を要望し、市
でも前向きに検討してい
きたい。



補助を受けた
ビニールハウス

市民ニーズに対応した診療所を！



今井 章也 議員

新築移転となる平川診療所について

今井 ①平成19年度から22年度までの一般会計からの繰入金総額②診療所の建築場所、建築予算③運営形態について④住民サービス向上をどのように職員に徹底するのか⑤職員8名体制に医師は入っているのか⑥経営目標について

市長 ①総額約4億6千万円となっており、1年で1億円ほどとなっている。②健康センター敷地内に移転新築することとなっているが、具体的な予算化はこれからである。③民間の診療所の診療体制を参考に利用率向上、経営合理化・効率化を図り、赤字額を圧縮していく。④職員の意識改革を徹底させ、市民サービス向上に努める。⑤⑧

名体制の中に医師も含まれるが、あくまでも庁内の検討委員会で検討された配置案であるので、予算化の際は更に検討される。⑥一般の診療の他に

より一層市民の健康づくりや病気予防、災害時や感染症等の有事の際の公的医療機関の機能等、地域医療としての役割を十分果たすとともに、規模縮小や経営努力により赤字額を減らしていくことを目標とする。



健康センター

職員採用試験受験者の情報について

今井 職員採用試験を受けた方の名簿が漏れている。どのように採用試験を行っているのか。

市長 採用試験の申し込み受付は総務課人事係が行った。第一次試験は9月に生涯学習センターで実施し、試験問題・採点は専門業者に委託。結果は10月に本人宛てに通知し、市のホームページにも合格者番号を掲載。第二次試験は11月に文化センターで作文と市長、副市長、総務部長による面接を実施。その日のうちに合格者を決定し、結果は11月中に本人宛てに通知し、合格者番号のみをホームページに掲載。1月中に本人に書面にて就職の意思確認を行い3月に採用通知を送付した。採用試験の申込者の個人情報、採点等に関する全ての情報は、関係者以外には機密事項となっており、関係書類は総務課がキャビネットに施錠して保管している。

匿名での情報には対処しかねる。根拠のあるものを議会で議論していただきたい。

停電は災害同様。早急な対策を！



大川 登 議員

避難所としての小・中学校の停電対策を

大川 「避難所として指定されているながらその役割を全く機能していない」「震災時には放送器具が使えず避難指示に苦勞した」という小・中学校の声を聞く。停電時の対応と、学校に設置されているソーラー発電の蓄電費用を問う。

市長 非常時の学校施設の機能や役割について、市全体の防災計画の見直し等を検討することとしている。

教育委員会事務局長

市内15校の放送設備を調査したところ、停電時でもバッテリーがあっても機能したのは3校。不具合があり機能しなかった1校を含め12校が停電時放送できない仕組みであった。1校あたり約12万円程度の経費であれば、停電時でも5分程度あることから、財政等と協議していきたい。

市の施設の節電対策と各家庭への呼びかけについて

大川 平川市の節電目標は何%か。また、どのように各家庭に節電方法周知するのか。

市長 市では平成20年度に「平川市環境保全率先行動計画」を策定し、不要な照明の消灯や間引き、休憩時には窓口業務以外のパソコン電源オフなどの節電に取り組んでいる。市民の皆さんには広報等で協力を呼びかける。

総務部長 省エネに取り

組み、本庁舎では昨年と比較して15%の電気削減となっている。各家庭へは、節電協力の毎戸チラシ等の対策に東北電力と市が一緒になって節電に努めていく計画である。

LED照明の購入に対する助成はないのか

大川 節電に効果的なLED照明は高価なため関心はあってもなかなか購入できない。助成があると購買意欲もあがる。

市長 財政的に厳しいので助成する考えはない。市民自らが節電意識をもって購入していただきたい。



太陽光発電設備（金田小学校）

高齢者の事故防止に関係機関の連絡を密接に！



福士恵美子 議員

太陽光発電設備を設置した目的は何か

福士 市役所や学校に設置されている太陽光パネルについて市民は非常に関心をもっている。設置目的と実績を問う。

市長 太陽光発電設備設置の目的は、自然・人間に安心安全な自然エネルギーの活用を進めることが重要であると考えたためである。市役所での実績は平成14年度から平成22年度までの8年と2ヵ月で282万円相当の電気を発電し、1万3938円を売電している。学校の方は平成23年3月から5月の3ヵ月で76万2千円相当を発電している。売電設備はない。

市長は原子力関連施設抑止のため先頭に立つべき

福士 原発に関する市長の考えは。

市長 これまで以上の厳しい安全基準を設け、原子力と共存しながらクリーンエネルギーに転換し、原子力に頼らないエネルギー施策が必要と考える。

平川市の経済を支えるリンゴ農家の不安の解消を

福士 今年はリンゴの花が少ない上に放射能の風評被害に農家は不安をかかえている。

市長 放射性物質測定機器を購入し、測定した結果を公表する。県、農協と取り組み平川市のリンゴが高値で安心して買ってもらえるよう検討したい。

事故・犯罪防止啓発のチラシ等が全市民に行き渡るような方法を考えよ

福士 高齢者の交通事故防止のため、どのような指導や啓発活動をしているのか。

市長 関係機関と協力し、靴へ取り付ける反射材を各種行事にて高齢者へ配布したり、ドライバーには街頭指導を行っている。

福士 犯罪である万引きが高齢者が増えている。防止のための市の取り組みを問う。

市長 地域コミュニティが薄れてきたことも万引きの要因とも言われている。関係機関と話し合い、規範意識向上や啓発活動に努めたい。

福士 医療や食事を拒み健康や安全を自ら損なうセルフネグレクト（自己放任）高齢者の市の現状は。

市長 今のところセルフネグレクトの状態の高齢者情報はない。一人暮らしの高齢者が増加していることから注意深く見守り、必要な対応を図るようになりたい。

住民の不安が解消される情報の伝達方法を考えよ！



佐々木利正 議員

要望された現場を確認し素早い対応を

佐々木 教育民生常任委員会です市内小・中学校を調査した際に各学校から出された要望に対する対応を問う。

教育委員会事務局長 後日、必要な修繕・補修箇所を学校に調査したところ、市内15校より108件提出された。現場を改めて調査し緊急度に応じた対応をさせていただく。

佐々木 あらゆる事例を想定し、危険性・緊急性などを判断する基準を設け対応すべき。

教育委員会事務局長 要望された内容の優先順位等を判断しながら、財政面での計画的、緊急性も考え対応していきたい。

災害発生後の停電時の市の対応について

佐々木 停電で住民が不安を感じていた2日間にとった市の情報伝達対応は。

総務部長 平賀地域では防災無線がないため広報車・消防自動車の2台で周知を図った。

尾上総合支所長 防災無線と広報車により周知を行った。尾上庁舎は停電時には自家発電で支所の設備をカバーできる。

碓ヶ関総合支所長 防災無線にて情報伝達を行った。バッテリーで約2日間稼働が可能である。

佐々木 防災無線を使用した施策への市長の考えを問う。

市長 尾上、碓ヶ関地域では震災時の対応が可能であったため、防災無線のない平賀地域でも同じような対応をできるような方法を講じていきたい。



教育民生常任委員会所管事務調査時の様子（4月25日・26日実施）

防災計画の早急な見直しで市民の生活安全確保を！



齋藤 律子 議員

災害に強いまちづくりについて

齋藤 平成28年度までに整備予定の防災無線対応はどうなっているのか。職員の定数削減・消防行政広域化で災害時の市民の安全・命を守る対応ができるのか。平川市独自の地域づくり・防災のまちづくりを。

市長 防災無線整備には弘前大学との共同研究の結果により多額の費用を要することを受け、整備内容を検討していく。大規模な災害時の職員の対応については全庁での協力体制構築や組織機構の見直しの中で検討していきたい。市の防災計画の修正は、県の計画の修正により対応することになるが、修正が生じる部分について総合的に見直しを進めていく。

教育現場・家庭・地域が連携した子育てを

齋藤 小・中学校から108件もの要望があった修繕箇所の改善計画を問う。児童・生徒指導や対策について。

教育委員会事務局長 緊急度、危険度等を整理しながら財政と協議するとともに、計画作りをしな

ながら少しずつでも教育環境の整備を進めていきたい。

教育長 学校間連携学習指導研究会等を開催し学習指導、生徒指導についても連携して話し合いをしている。今年度新たに幼稚園、保育園と小学校の情報交換として連携推進事業を実施予定である。

父兄と学校、PTAとの関係など、互いの関係を理解しながら進めて行きたい。

綱紀粛正について

齋藤 職員採用、公共事業入札、交通違反など綱紀粛正に努め、市長につ

いては清潔・公正・平等な行政運営を強く要望する。

市長 職員の行動に対しては、常に全体の奉仕者としての公務員の立場を認識し、勤務時間外における私的な行動においても留意するよう促している。自分の政治姿勢として、市民あつての行政であり、市民の声に耳を傾けながら、透明かつ公正な行政運営を心がけている。



管理管轄外施設でも市民の生活道路を守るべき！



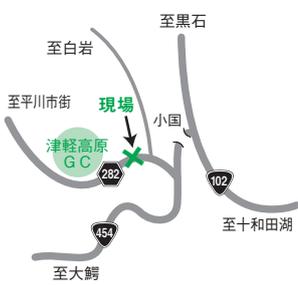
齋藤 剛 議員

自然災害発生時の対応の遅れを改善せよ

齋藤 東部地区住民が生活道路として利用してい

る県道小国・本町線が4月18日に発生した落盤、道路決壊事故について、ほぼ2カ月の間、市からの公式な連絡がなかった。

事故の場所は県道であるため県の管理となっているが市民の生活道路となっていることを認識し、市でも地元住民への周知、県・国に対して折衝を行うなど迅速な対応をすべきではなかったか。



市長 路面崩壊について、4月18日全面通行止め・解除予定未定の連絡が青森県中南県民局より届いておりません。迂回路及び通行止めの案内については、必要な箇所に県と協議して設置している。復旧見通しは仮設道路及び

全面復旧についての対策を検討している。解除予定についても早期に情報提供できるよう努めていく。今後は市民の生活道路であるならば県道、国道でもそれぞれの管理者に働きかけを行っていくように対応したい。



崩落した県道の現場の様子
(※現在は片側交互通行が可能)

議会の動き

平成23年

- | | | | |
|--------|---|-------|---|
| 6月2日 | 平成23年度国道7号整備促進期成同盟会通常総会に議長出席（弘前市） | 8月1日 | 第2回臨時会 |
| 〃日 | 議会広報特別委員会 | 2日 | 「平川ねぶたまつり2011」テープカットに議長出席 |
| 9日 | 第34回黒石警察友の会通常総会に議長出席（黒石市） | 3日 | 正副議長あいさつ回り |
| 14日 | 青森県選出国会議員との懇談会に議長、局長出席（東京都） | 5日 | 「平川ねぶたまつり2011」表彰式に議長出席 |
| 15日 | 全国市議会議長会第87回定期総会に議長、局長出席（東京都） | 9～10日 | 平成23年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回事務局長会議に局長出席 |
| 24日 | 平成23年度平川市物産協会通常総会に議長出席 | 〃日 | 第38回おのえねぶた合同運行表彰式に議長出席 |
| 25日 | 平川市自衛隊協力会総会に副議長出席 | 10日 | 平成23年度青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席（十和田市） |
| 〃日 | おのえ企画「生ビールまつり」に議長出席 | 11日 | 第38回おのえねぶた祭り反省会に副議長出席 |
| 30日 | 平川市労働福祉協議会平成23年度通常総会に議長出席 | 15日 | 黒石警察署殉職警察官慰霊祭及び偲ぶ会に議長出席（黒石市） |
| 7月6日 | 平成23年度平川市「社会を明るくする運動」及び「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に議長出席 | 15日 | 碓ヶ関御関所祭りに議長ほか出席 |
| 10日 | ごみゼロ市民大会に議長ほか出席 | 16日 | 第31回平賀登山囃子保存会平賀大会に議長出席 |
| 14～15日 | 東北市議会議長会理事会実行運動に議長、次長補佐出席（東京都） | 18日 | 平成23年度平川市戦没者追悼式に議長ほか出席 |
| 17日 | 第3回平川市民運動会に議長ほか出席 | 20日 | 緑青園盆踊り&花火大会に議長ほか出席 |
| 25日 | 平川市議会事務連絡会議 | 21日 | 平成23年度財団法人青森県消防協会南黒支部放水競技大会に議長出席（田舎館村） |
| 〃日 | 第66回市町村対抗青森県民体育大会 平川市選手団結団式に議長ほか出席 | 〃日 | 第66回市町村対抗青森県民体育大会解団式に議長ほか出席 |
| 29日 | 平成23年度平川市明るい選挙推進協議会総会に議長出席 | 22日 | 平成23年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回定期総会に議長、副議長、事務局長出席（藤崎町） |
| 〃日 | 平川市防犯協会通常総会に議長出席 | 24日 | 議会広報特別委員会 |
| 30日 | 「北限に観る蓮の花まつり」開会式に議長ほか出席 | 28日 | 第6回平川市小学生水泳競技大会に議長出席 |
| | | 30日 | 第6回高齢者軽スポーツ大会に議長ほか出席 |

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住所
氏名
紹介議員 氏名

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理由】

編集室から

『節電・エコ・絆』今流の言葉。一つ一つ意味は違うけれども、私はこの三つの言葉に共通するものがあると思います。それは、『大切にしている心』だと思います。

節電 東日本大震災以降よく耳にする言葉ですが、当たり前に使っていた電気のありがたさが身にしみてわかりました。今こそみんなで協力しなければならぬ時ではないでしょうか。

エコ 消費拡大のために、形が古いから、不便だから、まだ使える物でも使い捨てて来た。限られた資源の有効利用を今一度、考えてみよう。

絆 人と人とのつながり。人間として助けあう心。いろんな関係、場面でよく使われる言葉。今の時代だからこそ、心に響く言葉。響かせなくてはいけない言葉だと思ふのである。

（對馬 實）